



ブレイクアウトモードのインターフェイスの設定

- [ブレイクアウトの機能履歴, 1 ページ](#)
- [ブレイクアウトについて, 2 ページ](#)
- [ポートでのブレイクアウトの設定, 2 ページ](#)
- [ブレイクアウト設定の削除, 3 ページ](#)
- [ブレイクアウト設定の確認, 4 ページ](#)

ブレイクアウトの機能履歴

この表には、機能の追加や変更によるリリースの更新内容のみが記載されています。

表 1: ブレイクアウトの機能履歴

機能名	リリース	機能情報
ブレイクアウト	6.2(6) 6.2(8)	Cisco Nexus 7000 シリーズ スイッチ上のブレイクアウト機能に対するサポートが追加されました。 Cisco Nexus 7700 シリーズ スイッチ上のブレイクアウト機能に対するサポートが追加されました。

ブレイクアウトについて

Cisco Nexus 7000 シリーズ スイッチと Cisco Nexus 7700 スイッチは、ブレイクアウト機能をサポートします。ブレイクアウトを使用すれば、40 ギガビット イーサネット ポートを 4 つの独立した論理 10 ギガビット イーサネット ポートに分割することができます。ブレイクアウトは、アクティブな Twinax (7 ~ 10 m) ケーブルまたはマルチモードファイバケーブル (MTP コネクタまたは MPO コネクタ付きの SR4 光ケーブル) でサポートされます。



(注) ブレイクアウト機能が設定されている場合は、対応するモジュールがリロードされ、対応するインターフェイスの設定が削除されます。

ブレイクアウト機能は次のモジュールでサポートされます。

- Cisco Nexus 7000 F3 シリーズ 12 ポート 40 ギガビット イーサネット モジュール
- Cisco Nexus 7000 M2 シリーズ 6 ポート 40 ギガビット イーサネット モジュール
- Cisco Nexus 7700 F3 シリーズ 24 ポート 40 ギガビット イーサネット モジュール

ポートでのブレイクアウトの設定

はじめる前に

正しい仮想ドメイン コンテキスト (VDC) に入っていることを確認します。 **switchto vdc** コマンドを使用して必要な VDC に移動します。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	switch# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	switch(config)# interface breakout module slot port port-range map 10g-4x	ポートのブレイクアウト機能を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • <i>slot</i> : シャーシモデル別のポートのスロット番号。 • <i>port-range</i> : ブレイクアウトを設定する単一のポートまたはポートの範囲。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 3	switch(config)# copy running-config startup-config	(任意) 実行コンフィギュレーションをスタートアップコンフィギュレーションにコピーすることで、変更を保存します。

次の例では、1つの40ギガビットイーサネットポートを4つの10ギガビットイーサネットポートにブレイクアウトする方法を示します。

```
switch# configure terminal
switch(configure)# interface breakout module 1 port 1-12 map 10g-4x
switch(configure)# copy running-config startup-config
```

ブレイクアウト設定の削除

はじめる前に

正しい仮想ドメインコンテキスト (VDC) に入っていることを確認します。**switchto vdc** コマンドを使用して必要な VDC に移動します。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	switch# configure terminal	グローバルコンフィギュレーションモードを開始します。
ステップ 2	switch(config)# no interface breakout module slot port port-range map 10g-4x	ポートモジュールにおけるブレイクアウトの設定を削除して、インターフェイスを40ギガビットイーサネットモードの動作に戻します。 <ul style="list-style-type: none"> • <i>slot</i> : シャーシモデル別のモジュールのスロット番号。 <ul style="list-style-type: none"> (注) ブレイクアウト機能の設定時に対応するポートに使用したのと同じ <i>slot</i> モジュール値を入力します。 • <i>port-range</i> : 単一のポートまたはポートの範囲。 <ul style="list-style-type: none"> (注) ブレイクアウト機能の設定時に対応するポートに使用したのと同じ <i>port-range</i> 値を入力します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 3	switch(config)# copy running-config startup-config	(任意) 実行コンフィギュレーションをスタートアップコンフィギュレーションにコピーすることで、変更を保存します。

次の例では、ポート上のブレイクアウト設定を削除して、40 ギガビットイーサネットモードの動作に戻す方法を示します。

```
switch# configure terminal
switch(configure)# no interface breakout module 1 port 1-12 map 10g-4x
switch(configure)# copy running-config startup-config
```

ブレイクアウト設定の確認

ブレイクアウト設定を確認するには、次のコマンドを使用します。これらのコマンドは任意の順序で使用できます。

手順

-
- ステップ 1** **show interface eth1/1 capabilities**
インターフェイス コンフィギュレーションに関する情報を表示します。
- ステップ 2** **show interface brief**
インターフェイス設定の概要を表示します。
-

次に、インターフェイスのブレイクアウト設定を確認する例を示します。

```
switch# show interface ethernet 1/1 capabilities | i Breakout

Breakout capable:      yes
```

次に、インターフェイス設定の概要を表示するために使用される **show interface brief** コマンドの出力例を示します。

```
switch# show interface brief | grep 1/1

Eth1/1/1      --      eth  routed down    SFP not inserted      auto(D)  --
Eth1/1/2      --      eth  routed down    SFP not inserted      auto(D)  --
Eth1/1/3      --      eth  routed down    SFP not inserted      auto(D)  --
Eth1/1/4      --      eth  routed down    SFP not inserted      auto(D)  --
```